



# 「もち」の支出



## - 家計調査結果より -

お正月に食べるものといえば、「もち」を連想される方も多いと思います。「もち」は食べるだけでなく、お供えとして飾った方も多いのではないのでしょうか。

今月は「もち」の支出について、家計調査（二人以上の世帯）の結果から見てみましょう。

### 「もち」の支出が最も多い月は12月

「もち」の1世帯当たりの支出金額を月別にみると、お正月を迎える準備もあって、12月が1,065円で最も多くなっています（図1）。

### 12月30日が最も多い

次に12月及び1月の「もち」の支出金額を日別にみると、12月の後半、特にクリスマスが終わった頃から支出が増え、最も多くなるのは12月30日（194円）となっています（図2）。「もち」が大晦日ではなく30日で多くなるのは、お供えとして飾る鏡もちも含まれることもあり、いわゆる「一夜飾り」を嫌う風習<sup>注</sup>も一因かもしれません。

注：「正月の神様を迎えるのに一夜（大晦日だけ）では誠意に欠ける」として嫌う風習

### 年間支出金額は金沢市が1位

最後に、「もち」の1世帯当たり年間支出金額を都道府県庁所在市及び政令指定都市別にみると、金沢市が最も多く、次いで富山市、福井市の順に多くなっており、上位3市は北陸地方の都市となっています。

北陸地方などには、古くから土用の入りに「もち」をついて食べる「土用餅」の風習があり、こういった地方特有の風習などにより、もちの支出金額が多くなっていると考えられます（図3）。

図1 「もち」の1世帯当たり月別支出金額  
(2015～2017年平均)

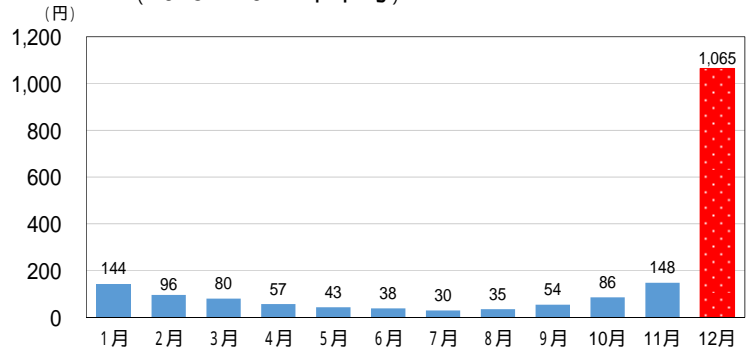


図2 「もち」の1世帯当たり日別支出金額  
(2015～2017年12月及び2016～2018年1月平均)

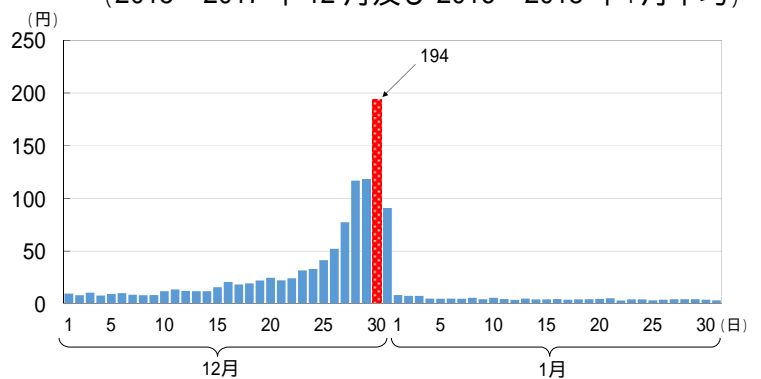


図3 「もち」の1世帯当たり年間支出金額の  
都道府県庁所在市及び政令指定都市別  
ランキング(2015年～2017年平均)

